

那覇市感染症発生動向調査週報(5月分月報含む)

2024年 第24週 (6月10日 ~ 6月16日)

Infectious Diseases Weekly Report of Naha City

那覇市保健所

■今週のコメント

※RSウイルスや新型コロナ等の感染予防には、定期的な室内換気、咳エチケット、手洗い・手指消毒が大切です。さらなる感染拡大の危険性がありますので、「うつらない」「うつさない」「(救急医療を) つぶさない」の合言葉で感染予防の徹底をお願いします。

●RSウイルスの報告数が、多い状況が続いています。

・定点あたり第21週(5月20日～)の2.86から3週連続で今年最多を更新し、第23週で6.14、第24週は4.14と多い状況です。RSウイルスは風邪様の症状が数日続き、重症化した場合は肺炎などで入院することがあります。

●新型コロナウイルス感染症の報告数が、多い状況が続いています。

・定点あたり第19週(5月6日～)の11.70から5週連続で今年最多を更新し第23週で22.58、第24週は19.42と多い状況です。昨年度の感染状況から、7月に向けて感染拡大のピークを迎える可能性があります。

●劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数は、過去最多を更新しています。

・今年1月1日から6月16日までに、9件となり過去最多を更新しています。過去10年間の平均は1.9件/年でした。
・一般的な溶血性レンサ球菌(いわゆる溶連菌)の症状は急性咽頭炎などですが、まれに、突発的に劇症型溶血性レンサ球菌感染症を発症して急激に進行し、敗血症性ショック病態になります。致命的となりうる場合もあります。
・手指衛生や咳エチケット、傷口の清潔な処置等の基本的な感染対策をお願いします。

●急性出血性結膜炎の警報を発令しました。

・症状は、突然の強い目の痛み、異物感等で始まり、結膜の充血、結膜下出血を伴い、約1週間で治ることが多いです。ごくまれに6～12か月後に四肢の運動麻痺を来すことがあり、学校感染症の第3種に規定されています。
・予防には、手を石けんで十分に洗うこと、タオル類の共用を避けましょう。

■警報・注意報

	那覇市	沖縄県および県型保健所
警報	急性出血性結膜炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(八重山) 手足口病(八重山)
注意報	新型コロナウイルス感染症(那覇市独自基準)	なし

警報は、「大きな流行の発生または継続が疑われる」を示す。

注意報は流行発生前なら「今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い」、流行発生後なら「流行が継続している」を示す。

■全数把握対象疾患

(全数把握対象疾患は、全ての医療機関において、その疾患を診断した場合に届け出るもの。)

類型	那覇市	沖縄県型保健所
二類	結核1件	結核5件(北部2件、中部3件)
三類	なし	腸管出血性大腸菌感染症1件(中部1件)
四類	なし	E型肝炎1件(中部1件)
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)1件 侵襲性肺炎球菌感染症2件	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件(中部1件) クロイツフェルト・ヤコブ病1件(中部1件) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(南部1件) 梅毒2件(中部1件、南部1件)

■インフルエンザ発生動向

(定点報告値(平均): 1以上は流行兆し、10以上は注意、30以上は警報)

	A型	B型	A型及びB型	臨床診断/不明	①合計	②定点医療機関数	定点報告(①÷②)
那覇市	2	1	0	5	8	12	0.67
県	34	7	1	6	48	53	0.91

※定点医療機関とは、インフルエンザ等18の感染症について、患者発生情報を提供する医療機関。

定点1医療機関あたり平均報告数で、感染症流行状況を把握しています。

■インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症による入院患者の届出数(基幹定点)

報告数	1歳未満	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
新型コロナウイルス	1	0	1	0	0	0	1	0	2	4	3	4	16
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■学校等の臨時休業報告(那覇市)

種別	休校数	学年閉鎖数(学校数)	学級閉鎖数(学校数)
新型コロナウイルス	0	0(0校)	0(0校)
インフルエンザ	0	0(0校)	0(0校)
その他	0	0(0校)	0(0校)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象/那覇市)

種別	疾患名	報告数	定点あたり	年齢階級別報告数									
				-12カ月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳-
	インフルエンザ	8	0.67	0	1	2	1	1	0	1	0	0	2
	新型コロナウイルス感染症	233	19.42	8	7	11	19	8	18	17	19	31	95
小児科	RSウイルス	29	4.14	12	17	0	0	0					
	咽頭結膜熱	3	0.43	0	2	1	0	0					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	2.14	0	5	7	1	0				2	
	感染性胃腸炎	15	2.14	1	3	4	2	0				5	
	水痘	0	0	0	0	0	0	0				0	
	手足口病	20	2.86	7	13	0	0	0				0	
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0				0	
	突発性発疹	2	0.29	1	1	0	0	0				0	
	ヘルパンギーナ	14	2	4	10	0	0	0				0	
	流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	流行性角結膜炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	4	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎(杓病除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 性感染症(STI)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

性感染症		性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
報告数	市	4月	10	-	10	4	-	4	4	-	4	3	-	3
		5月	11	-	11	1	-	1	3	1	2	7	-	7
定点あたり	市	4月	3.33	-	3.33	1.33	-	1.33	1.33	-	1.33	1	-	1
		5月	3.67	-	3.67	0.33	-	0.33	1	0.33	0.67	2.33	-	2.33
	県	5月	2.08	0.08	2	0.42	0.08	0.33	0.33	0.08	0.25	0.58	-	0.58
		国	5月	2.58	1.3	1.28	0.86	0.34	0.52	0.62	0.4	0.22	0.75	0.56

基幹		メチシリン耐性黄β菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌			
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
報告数	市	4月	10	8	2	-	-	-	-	-	-
		5月	3	1	2	-	-	-	-	-	-
定点あたり	市	4月	10	8	2	-	-	-	-	-	-
		5月	3	1	2	-	-	-	-	-	-
	県	5月	3.57	1.57	2	0.14	0.14	-	-	-	-
		国	5月	2.66	1.67	0.99	0.2	0.12	0.08	0.02	0.01

■ 定点把握感染症の定点当たり報告数 直近の推移 (那覇市)

